

関節リウマチってどんな病気？

関節リウマチがどのような病気かご存じですか？いろんな関節が変形し、痛みが出て生活が難しくなると思いませんか？

30年前は特効薬がなく、変形が進み、両膝や股関節、手関節、首の骨など多くの手術を受けている方がいましたが、現在では薬による治療が基本となっています。

関節は骨・軟骨・靭帯（じんたい）・半月板・滑膜・血管などで構成されています。関節リウマチは滑膜の炎症が原因で症状が起こります。

炎症の原因はまだ明らかになっていませんが、炎症により関節が腫れると軟骨が破壊され、その後、骨が破壊されたり靭帯が切れたりして、痛みを伴います。

検査では、レントゲンで関節の変形の有無を、エコー検査で炎症により血流が増えていないかを、血液検査で早期のリウマチや炎症の診断を行います。

治療は、関節が変形しないように炎症をコントロールし、日常生活に支障が起きないようにします。

炎症を抑える薬を使用し、痛みの程度により鎮痛剤やステロイドなどを追加します。それでも炎症をコントロールできなければ生物製剤という注射を使用します。

ただし、薬で免疫を抑えることにより、以前に結核やウイルス性肝炎にかかったことのある方は再燃する可能性があるため、注意が必要です。

より良い生活をするために専門医での早期診断、早期治療をお勧めします。

令和2年12月

熊野 文雄